

令和7年度 高短生調査の結果報告

高田短期大学 自己点検・評価委員会

＜本調査の目的＞

高田短期大学に在籍する学生に対して質問紙調査を行い、学生の学習成果や短大生活の満足度等を把握し、高田短期大学の今後の教育や学生支援を改善・向上させていくための基礎資料の蓄積を目的とする。

＜結果＞

①基本属性：所属学科および学年を表1に、アンケートの回答率を表2に示した。

表1 所属

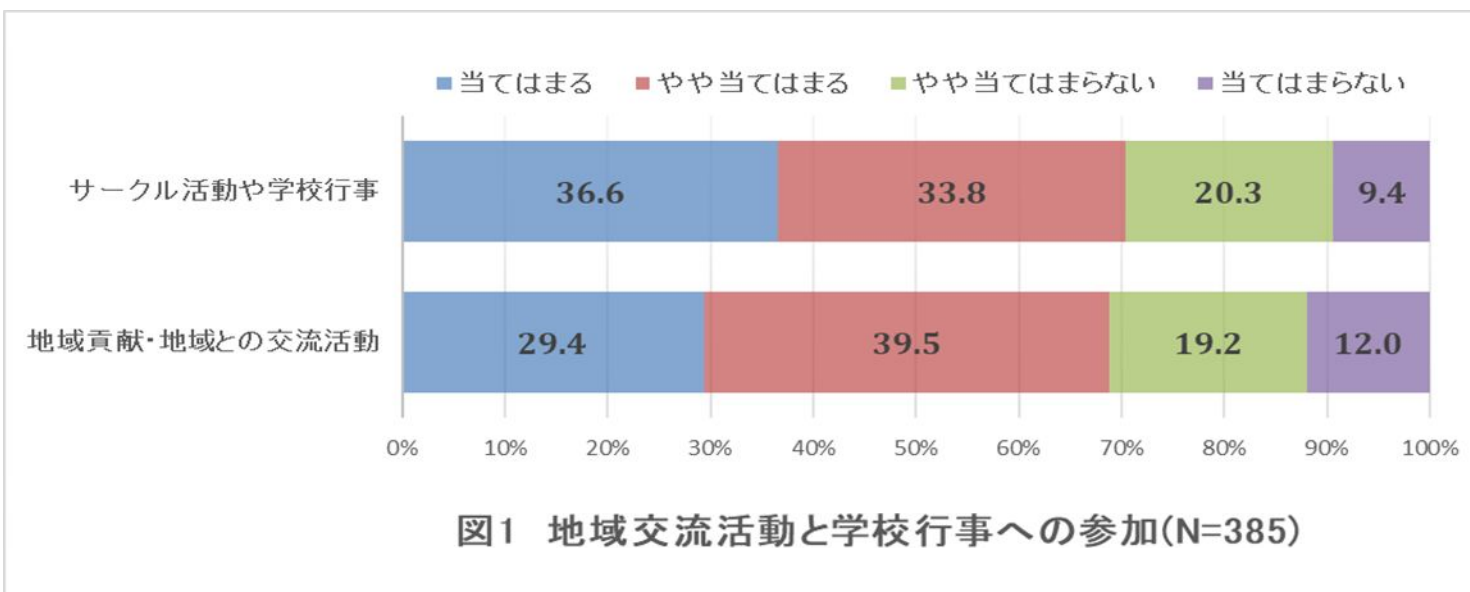
	1年	2年	合計	%
子ども学科	132	137	269	57.4
キャリア育成学科オフィスワークコース	61	68	129	27.6
キャリア育成学科介護福祉コース	33	37	70	15.0
合計	226	242	468	100.0
%	48.3	51.7	100.0	

表2 回答数と回答率

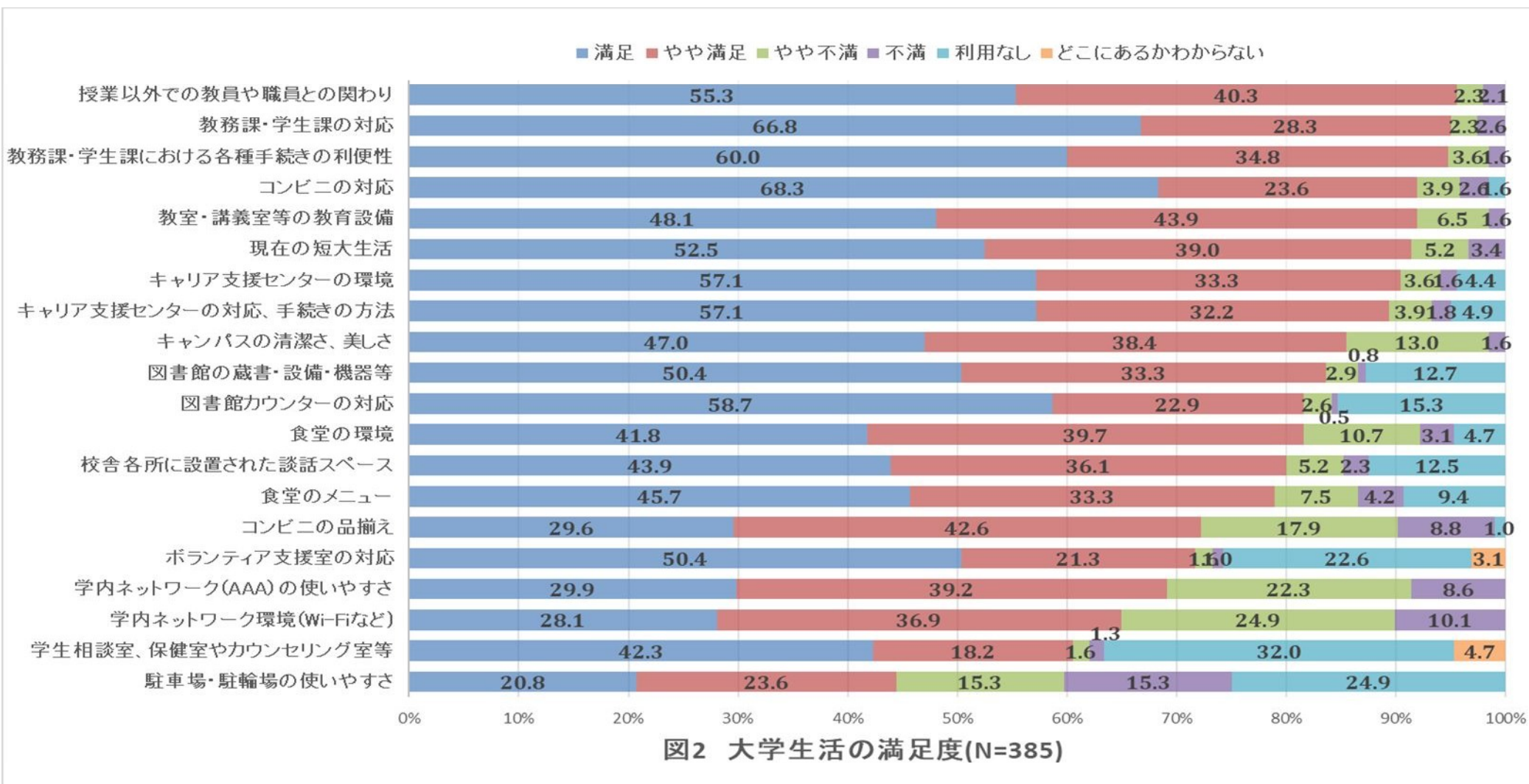
	1年	2年	合計
子ども学科	110/132(83.3%)	120/137(87.6%)	230/269(85.5%)
キャリア育成学科オフィスワークコース	56/61(91.8%)	47/68(69.1%)	103/129(79.8%)
キャリア育成学科介護福祉コース	27/33(81.8%)	25/37(67.6%)	52/70(82.3%)
合計	193/226(85.4%)	192/242(79.3%)	385/468(82.3%)

<結果>

②地域交流活動と学校行事への参加



③大学生活の満足度



* 分析対象 調査は468名の学生に行い、385名の回答があった(回答率82.3%)。
* 地域交流活動と学校行事への参加(図1) ボランティアなどの「地域貢献・地域との交流活動」への参加割合は(68.9%)、また、「サークル活動や学校行事」への交流割合は70.4%である。「サークル活動や学校行事」と同じくらい、「地域貢献・地域との交流活動」への意識も持っていると思われる。参加割合を昨年度と比較すると、地域活動は18.6%、学校行事は11.8%上昇した。
* 大学生活に関する満足度(図2) 91.5%の学生が現在の短大生活に満足している。「授業以外での教員や職員との関わり」「教務課・学生課の対応」「教務課・学生課における各種手続きの利便性」「コンビニの対応」「教室・講義室等の教育設備」「キャリア支援センターの環境」についても90%以上が満足している。一方で、「駐車場・駐輪場の使いやすさ」については、満足とやや満足を合わせて44.4%であり、満足度は低い。
* まとめ ・回答率は82.3%であった。昨年度の回答率(89.5%)と比較すると7.2%下がった。 ・《大学生活の満足度》の項目にある「現在の短大生活」については「満足」「やや満足」が91.5%であり、昨年度(93.3%)よりやや下がったが、満足度は高いと言える。 満足度の詳細を見ていくと、全体に大学の施設や教職員の対応の満足度が高く、それが短大生活の満足度の高さに影響していると言える。 ・昨年度の満足度(「満足」+「やや満足」)と比較して5%以上の増減があったものは以下の通りである。 満足度が上がった項目は、「キャリア支援センターの環境(90.4%)」(+9.1%)、「キャリア支援センターの対応、手続きの方法(89.3%)」(+8.4%)「図書館カウンターの対応(82.9%)」(+8.7%)「ボランティア支援室の対応(71.7%)」(+7.6%)であった。他にも「教室・講義室等の教育設備(92.0%)」(+5.6%)の満足度が上がっている。またキャリア支援センターや図書館、ボランティア室は「利用なし」の割合が減っており、利用者が昨年度よりも増加していた。 満足度が下がった項目は、「学内ネットワークの環境(Wi-Fiなど)(65.0%)」(-11.1%)「キャンパスの清潔さ・美しさ(85.4%)」(-7.7%)、「学内ネットワーク(AAA)の使いやすさ(69.1%)」(-7.4%)、である。要望として具体的に記述されている点もあるので、さらに学生生活が充実したものになるように検討していきたい。 ・自由記述には満足に思う点についての方が不満に思う点よりも多く記述されていた。学生の満足度を保つことができるように努めていきたい。